



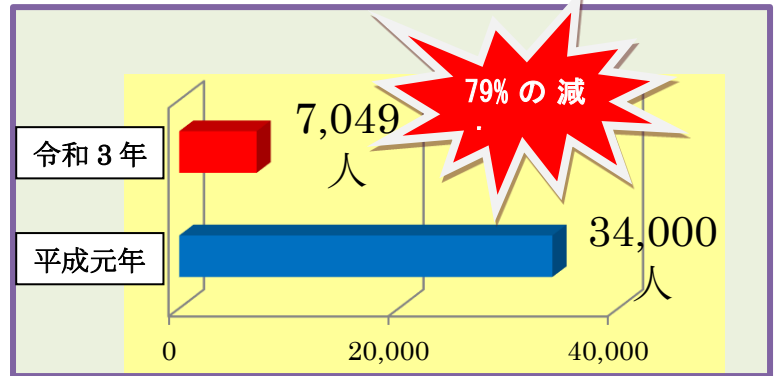
# 『若手部会』 ミニ通信

発行 仙台市老人クラブ連合会  
発行責任者 齋藤 芳孝

コロナの新規感染者が、激減の傾向にあり、地域も徐々に活気が感じられるこの頃です。

会員の皆さまには、「健康・友愛・奉仕」を心掛けて活動されていることと存じ上げます。

さて、仙台市老人クラブ連合会の会員数は次のとおり減少し、危機的な状況にあります。



若手部の使命は、会員加入の増強ですが、部会で思案し議論するものの特効薬はありません。このような中で、青葉区郷六老人クラブ明朗会、令和3年度に7人増を確保していただきました。

### 〈増強できたポイント、クラブ活動の留意点〉

民生委員の方が70歳以上に声がけし、入会につながった。

単老の広報誌を発行し、クラブの魅力を知った。

特に大事なことは、クラブ存続のため、会長の後継者を見つけておくこと。

クラブ解散の防止

◎会員増強のための活動方針が、次のとおり決定しました。

- ①伊達なクラブ仙台の魅力を発信する。
- ②加入促進声がけ活動を実施する。
- ③町内会や民生委員などの地域の団体とつながりを持つ。
- ④友愛活動、見守り活動を強化する。
- ⑤会長の後継者を育成する。
- ⑥仙老連行事を見直しする。

具体的 な 取り 組み は、 今 後の 会議 や 行 事 開 催 等 で 明 ら か に な り ま す。

各 クラ ブ は、 地 域 性 も 考 慮 の 上、 声 が け を 中 心 に 活 動 量 を 増 や し て 行 き ま し ょ う。

手 部 も 頑 張 り ま す。 会 員 の 皆 さ ま と 一 緒 に 若

- ⑦町内清掃活動、小学校の草とりなどのクラブ活動を地域へアピールする。